



東北大学

報道機関 各位

平成 25 年 3 月 29 日

東 北 大 学

文部科学省「情報ひろば」で 東日本大震災への復旧・復興への取組みを紹介

東北大学は、文部科学省 情報ひろば 旧秘書官室で、東日本大震災への復旧・復興への取組みを一般に分かりやすく紹介するためのパネル展示を下記の要領で行うことといたしましたのでお知らせいたします。

また、パネル展示と併せて、手動で津波の水の動きを観察できる装置である「津波発生装置」の展示、8つの研究プロジェクトの一つである「災害科学国際研究所」の研究成果を DVD で紹介いたします。

記

■企画展名（テーマ）

東日本大震災への復旧・復興への取組み

■展示期間

平成 25 年 4 月 1 日～7 月 31 日

■展示場所

文部科学省 情報ひろば

「旧秘書官室」

（東京都千代田区霞が関 3-2-2 旧文部省庁舎 3 階）

■展示概要

テーマ：東日本大震災への復旧・復興への取組み

東北大学は、東日本大震災からの復興・地域再生を先導するために 2011 年 4 月に「東北大学災害復興新生研究機構」を設立、研究・教育・社会貢献等に戦略的かつ組織的に取り組み、その成果を発信・実践するための組織と位置づけました。その中の 8 つの研究プロジェクトと東北大学教職員が自発的に取り組む 100 のプロジェクトの紹介と併せて、今回の震災がどのような災害だったのか、地震と津波の調査・研究の紹介をするとともに、津波発生装置の展示と 8 つの研究プロジェクトの一つである「災害科学国際研究所」の研究成果等について DVD で紹介いたします。

【主な展示物】

○実物展示

- ・津波発生装置（通称：津波はかせ）

津波発生装置は、手動により波を発生でき、津波の水の動きを観察できる装置です。

津波は、海域での地震、火山活動による山体崩壊、海底での地すべりなどによって引き起こされ、海岸線に押し寄せる高波です。津波という言葉は、沖合では目立たないが、津（船着場、港、港町等の意）で顕著な波となるというところから発祥し、世界中で“Tsunami”と呼ばれています。

この津波模型を用いて、津波の怖さ、津波とはどういうものかを学習し、津波災害を軽減するにはどうすればよいかを考えます。

○パネル

- ・津波が起こるしくみ（津波と高波の違いや津波の高さと規模の解説）
- ・日本周辺の地震（地震と地殻変動の解説）
- ・東北地方太平洋沖地震（東日本大震災を引き起こした地震と津波の解説）
- ・東北大学 復興アクション（東北大学復興アクションの解説とその活動を紹介する8つのプロジェクト等の紹介）

○動画放映

東北大学復興アクションで紹介する8つのプロジェクトの一つである災害科学国際研究所の研究成果等を動画で紹介します。

(お問い合わせ先)

東北大学総務部広報課

電話：022-217-4816

FAX：022-217-4818

Mail：koho@bureau.tohoku.ac.jp